



写真：松川湖（伊東市）のロウバイ

-目次-

1. いつでも誰でも！お手軽ジオツアー <下田編>.....2
2. はじめまして、ジオ伊豆・女子部です！.....4
3. 伊豆下田の道の駅に開設されたビジターセンターです！.....5
4. ジオと出会って.....7
5. 伊豆半島ジオパーク 最近のできごと.....12

「ジオ伊豆・女子部」は伊豆半島ジオパーク認定ジオガイドの女性3人で結成されました。今回はその活動を紹介します。

下田ジオパークビジターセンター勤務の土屋と、市内で高校生活を過ごし、下田市街を愛してやまない内藤の下田散歩の一日をご紹介します。

このツアーは、実際に内藤が友人知人や仕事関係の方をお連れしているコースです。子供から足の悪い方、ご高齢の方まで幅広くご案内していますが、多少の雨でもOK、短時間・短距離・平坦地でかつ歴史・温泉・地質など、多様な（まさにジオ！）側面から「下田」を知ることができるので、毎度好評を頂いています。

健脚な方は、駅から起点の了仙寺までも徒歩（およそ 1km）、また紫陽花や椿の時期には下田公園散策（階段または坂道あり・1~2km）を加えても楽しいコースです。

起点・終点：了仙寺

コース：①了仙寺→②旧澤村邸→③下田富士ジオ看板→④昭和湯→⑤土藤商店→⑥松本旅館→⑦手湯・足湯→了仙寺

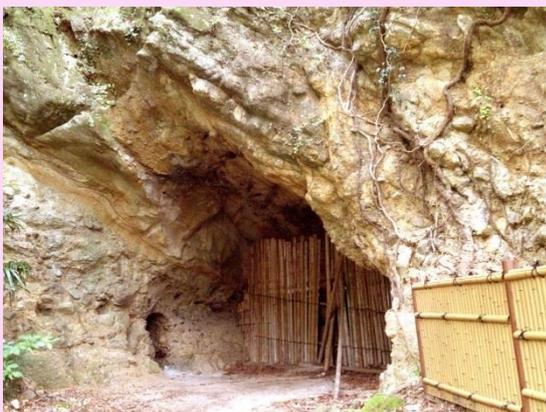
距離：おおよそ 1km 車両通行可の舗装道 ペリーロードのみ石畳（車両通行不可） 段差なし
（車椅子・ベビーカー可）

所要時間：2~3 時間 休憩所・ベンチ複数有 喫茶・食事処有



↑土屋（左）&内藤（右）

こんな場所を巡ります…



① 了仙寺 横穴遺跡

およそ 1300~1400 年前のお墓です。

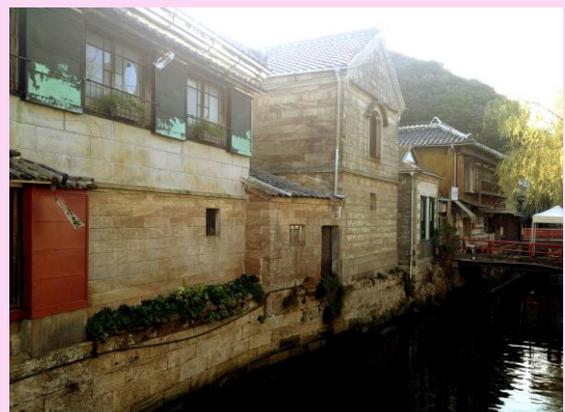
了仙寺といえば日米和親条約の下田条約締結地、現在はアメリカジャスミンが有名ですが、一目見るなり「海底火山のなごり！」と叫んだジオガイド女子の私たち。白浜層群と呼ばれる、数百万年前に伊豆がまだ海の底だった時代の露頭は、この場所以外でも、名前の「白浜」ほか、須崎、竜宮窟など市内のあちこちで見ることができます。

②への道中：ペリーロード

柳がそよぐ石畳の遊歩道から、水路を隔てた向こうに伊豆石でできた建築が並びます。火山の噴出物からなる伊豆石は、マーブル模様が特徴。

気候の良い日は、係船柱を模したベンチでお茶やランチも最高。

水路が美しい京都や金沢、小樽などにも引けをとらない、情緒ある空間です。



② 旧澤村邸

なまこ壁が美しい、無料の休憩所。建物奥の「蔵ギャラリー」（無料）は、壁面が一面伊豆石。

ペリーロードが見える休憩室ではお茶の用意もあります。観光パンフレットや、もちろん、ジオマップも入手できます！

※隣接してトイレあり

（オストメイトトイレなし）



←伊豆石の壁。まさにジオ！



③ 下田富士・ジオ看板

奥の△形の山が「下田富士」。遊歩道もあり、登ることができます。昔海底火山だった時のマグマの通り道が、本州とぶつかった後に隆起し、削られて残ったものです。

なぜこの場所にジオ看板が？ という理由は、街中を歩いてみるとわかります。下田富士、見えるかな？



④ 昭和湯

今では少なくなった銭湯。

ここは看板のとおり「温泉」の銭湯です。日帰り湯のある宿も楽しいですが、地元の皆様と楽しむお湯も最高です。



⑦ 手湯・足湯

大横町通り（通称：足湯通り）では、1~2名用のかわいい手湯と足湯が点在します。服や靴を脱がずにお手軽な手湯は、これからの季節は特におすすめです！



⑤ 土藤商店

昔懐かしい広告が並ぶ店内、店の外壁には、昔の下田市内の大きな写真パネル。現在地の今と昔を比べてみると……



♪ジオトレイン♪

♪下田が終点の伊豆急行では、中吊りもゼーンぶジオ！なジオトレインが運行されています。

天候が良い日は、車窓からお隣、伊豆大島ジオパークも見られますよ♪



⑥ 松本旅館

壁面の瓦と瓦をつなぐ漆喰の継ぎ目がなまこに似ていることから「なまこ壁」と呼ばれ、防火・防水などの役割をしています。今もお街中で見られる歴史的建築です。伊豆半島内では、松崎町の岩科学学校などにも有名です。

はじめまして、ジオ伊豆・女子部です！

ジオ伊豆・女子部 部長

伊豆半島ジオパーク認定ジオガイド 内藤 美奈子

こんにちは。「ジオ伊豆・女子部」を立ち上げました内藤です。

伊豆半島の東海岸、ちょうど真ん中の東伊豆町で育ち、登山が趣味の父親に連れられ、毎週末は稲取火山・浅間山・細野高原と稲取の山々のヤブ漕ぎをしながら育ちました。

成人してからは縁あって黒部周辺の山々（今の立山黒部ジオパークの一部）を登っていましたが、3年前に腰の椎間板ヘルニアを患い、登山が難しくなりました。やっと日常生活ができるようになってきた頃、知人に「リハビリに伊豆の山を歩いてみない？」と伊豆高原ジオパーク研究会のジオツアーにお誘い頂き、それ以来ジオの魅力にすっかりとりつかれ、気づいたら自分がジオガイドになっていた、という現在です。

なぜ「ジオ伊豆・『女子部』」？ というきっかけですが、黒部の山々を教えてくれた大先輩と、学生時代の友人の何気ない一言でした。

あるジオサイトの柱状節理の写真を公開したところ「伊豆にもジオにも興味があるが、自分にも行けるだろうか？」という質問が両者からありました。大先輩は足に障害を持ち、友人は歩き始めたばかりの幼児の子育て中。はっとしました。公式サイトにはトイレの有無などの記載はあるけれども、誰もが全てのジオサイトにアクセスできるわけではない。そして、自分もジオに触れはじめたときは腰に爆弾を抱えていて、体調によってはジオツアーも少々厳しかった……

そんなある日の出来事と、身内を看護・介護していた経験から、情報を発信できる場が欲しいと思い始めました。なぜ「女子」だったかということ、男女平等とはいえ、子育ても介助・介護も、依然として女性の担う割合が大きいからです。

ただ、伊豆半島は広いので一人では活動が難しい、というのと、ジオガイド同志のつながりを作りたい、という考えもあり、養成講座で一緒した城所さんと、土屋さんに声掛けをしました。女子と冠していますが、特に「性別」や「同期」というこだわりはありません。実際、立ち上げの前には男性ガイドの諸先輩方にもたくさんのご意見を頂き、陰ながら応援して頂いています。

そして、こちらは全くの個人的な趣向ですが、料理を作ることも食べることも大好きです。この点に関して、巡検に出かけたついでに寄ったお店、得た情報などを発信する場が欲しいと思いました。それこそ男女差別(?)になります。こちらは「女子」という名前の方が発信しやすいかな？ と思ったのも立ち上げた理由の一つです。

お二方はそれぞれエリアも違い、またジオガイドとしての個性ややりたいことがあるはずですので、活動がどんな方向に進むかはある意味風まかせ、な部分もあります。それは今後の女子部の個性となっていくでしょうし、私にとっては楽しみでもあります。この自身の「楽しい」という感覚をもとに、どんな環境や条件のあるお客さまにも、それぞれに応じた「ジオの楽しみ」を感じていただけるよう、頑張りたいと思います。

伊豆下田の道の駅に開設されたビジターセンターです！

下田ビジターセンター併設・伊豆下田のアウトドア・自然体験案内所「し〜もん」勤務
伊豆半島ジオパーク認定ジオガイド 土屋 桂子

下田市の道の駅 2F にあるジオパークビジターセンターにてジオサイトのご案内や説明・パンフレット等の提供と、下田のアウトドア・自然体験の案内窓口「し〜もん」にてジオイベントやジオサイトの PR としてネット発信や受付をしています。

ジオサイトのポスターも展示してあるので積極的にご案内し、アクセスや現地情報をお伝えして多くの方にジオサイトに足を運んで頂く様に取り組んでいます。

道の駅にあるので、ジオをまだご存じない方もいらしゃいますし、ジオって最近よく聞くけどどういう意味？ などと聞かれる方もよくいらしゃいます。そのような方達のジオの入口になれば嬉しいです。

個人の活動としては、ジオガイド3期生の同級生の方々と「ジオ伊豆・女子部」として女性の観点からジオを楽しむ情報発信をフェイスブックにて始めました。宜しくお願い致します。

ジオ伊豆・女子部 FB ▣ <https://www.facebook.com/izugeogirls>

Twitter ▣ https://twitter.com/geogirls_izu

❁そこで下田のジオサイトを少しご紹介・・・

龍宮窟 (田牛・海底火山の地層の洞窟)



白浜・板見 (近くに三穂ヶ崎の祭祀跡があります)



ペリーロード (町内・伊豆石家屋と開国の歴史)



恵比寿島 (須崎・火山灰等が積もった地層)



下田のジオサイトにお越しの際は是非、道の駅 2F のビジターセンターにお立ち寄り下さい。



併設の「し〜もん」は下田市観光まちづくり推進計画の主要事業「世界一の海づくりプロジェクト」により開設されました。併せてご活用頂き下田を存分に味わって楽しんで下さい。

し〜もん HP ▣ <http://seamon.info/>

FB ▣ <https://www.facebook.com/seamoda>

伊豆市観光協会 伊豆市観光案内所勤務
伊豆半島ジオパーク認定ジオガイド 城所 知代

私が初めてジオを知ったのは2013年5月。

昨年の伊豆半島ジオパークガイド養成講座に参加し、たくさんのことを学ばせて頂きました。

伊豆半島ジオパークと出会ってまず思ったこと。

「伊豆半島には、こんなに素敵な景色があるんだ！！！」

感動しました。ジオサイトを巡るのが楽しい。

今日はどんな景色が待っていて、そこにはどんなストーリーが
あって、どんな空気が流れているんだろ?!・・・ワクワク
ドキドキ♡



人間の手では作れない 自然の偉大さ

長い長い年月をかけて出来た景色！

自然が造り出す姿、その美しさに感動!!! 感動! カンドウ! KANDOU!

そして、自分が生まれ育った場所の生い立ち、成り立ちを知ることができて、更に生まれ故郷に愛着が湧き、も一っと伊豆が好きになりました。



大地も生きているんだなあ!(^^)! と・・・。

私にとってジオは、

“癒される”そして“元気をもらえる”場所なのかもしれません。
奥は深いですが、誰もが簡単に触れることのできるとってもシンプルな
ものだと思います。

堂ヶ島の天窓洞 神秘的☆

以下、今まで行って撮った写真を抜粋して載せました。

まとめてみて、今まで色々な所に行ったなあと改めて。

行ったけど載せられない場所がまだまだあってとっても残念・・・

そして、行ってみたい所も、また行きたい所もたくさんあります。

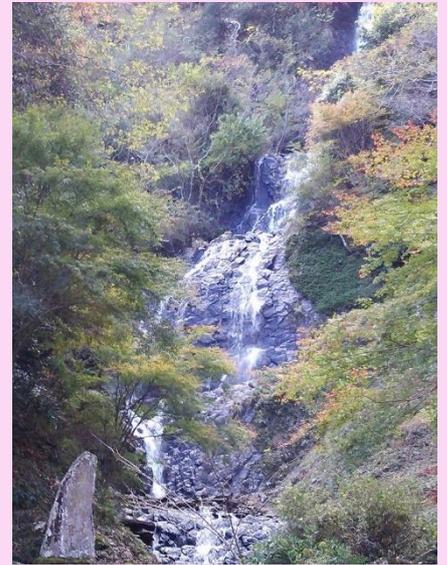
これからもジオを学び触れ合い、多くの方に良さをお伝えしたいです。



土肥の夕日 ホント綺麗!



「天城越え」で有名な「浄蓮の滝」
 きれいな空気に元気をもらおう！
 ハイコモンダと柱状節理も美しい。



旭滝 伊豆の中でも高い滝。
 この石垣は小天狗が積み上げた?!
 というお話もあるそう。



白鳥山
 真っ青な空と白い岩肌の
 コントラストがステキ☆
 見事な柱状節理！



ブナ
 面白い形のブナ!(^^)!
 天城山のブナに癒される♪
 優しさを感じる場所



中伊豆筏場のわさび沢
 日本最大級のわさび沢も火山の恵み



かわごだいら
 皮子平
 苔むした岩と若葉。
 緑の濃淡がとても美しい。
 トトロの世界みたい?!



なめさわけいこく
滑沢溪谷

天城のビジターセンターにいたときのお散歩コース。



つちのこさんと仲良くしていた頃が懐かしい(^O^)



東伊豆 稲取火山の火山弾

クロワッサンの形をした火山弾にビックリ！！
これも自然にできた形。



伊東かんのん浜 ポットホール

直径70センチ程の石が入っています。
波で石がクルクル回って削られてピカピカ真ん丸に・・・(@_@。



大室山の頂上から見た景色
虹が綺麗に出ていました。
運が良かった！ハッピーな景色♥



南伊豆の千畳敷
岩脈がくっきりわかります！
海はエメラルドグリーン。



伊豆石を採石した跡も残っ
ていて、伊豆の人々の歴史
も垣間見えました。



下田恵比須島
日本じゃないみたい(・o・)

下田白浜神社
青い空と海、三宅島を向いて
立っている赤い鳥居。
この景色大好き♪



田牛の龍宮窟
ラブパワースポット？！
洞窟を上からのぞくと♥になっています。
もちろん、これも自然が作った♥です。

柿田川湧水
丸い中の透き通ったブルーは印象的！
今携帯の待ち受け画面にしています。
何か良いことありそうでしょ☆彡



❁伊豆に咲くお花たち❁



金冠山の豆桜
見頃:4月中旬



天城のシャクナゲ
見頃:5月中～下旬



天城つつじ
見頃:6月下旬～
7月初旬



トウゴクミツバツツジ
見頃:5月中～下旬



かわいいお花たち 鑑賞できるのは一年のうち、ほんのわずか・・・その一瞬の美しさに出会えた時は本当に感動しますよ。すごく嬉しい。四季折々の景色が楽しめるのも自然の魅力ですね☆

伊豆半島ジオパーク最近のできごと

GGN に加盟申請書を提出

12月1日、GGN（世界ジオパークネットワーク 本部：フランス・パリ）に加盟申請書を提出しました。

今後、来年2015年の6～8月に現地審査を受け、GGN加盟可否は9月に発表予定です。

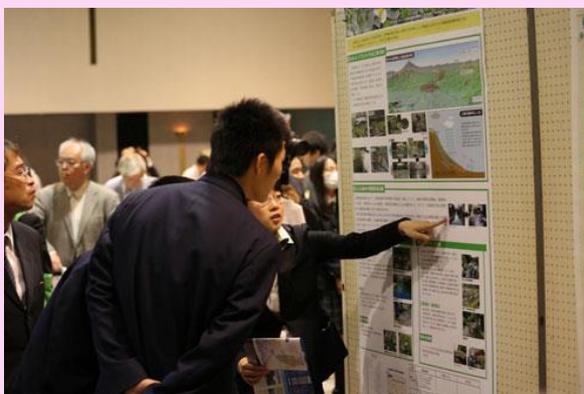


山陰海岸ジオパーク国際学術会議「湯村会議」参加

10月25・26日に山陰海岸ジオパークの湯村温泉（兵庫県）で行われた国際学術会議に参加しました。

「ジオパークにおける地域づくり」をテーマに基調講演、パネルディスカッション、ポスター発表、ジオツアーが行われ、伊豆半島ジオパークはポスター発表を行いました。ポスター発表の内容は三島湧水群（柿田川ジオサイトや三島ジオサイトの範囲にあたります）における市民活動の報告。

ガイドや地元の高校生、研究者など幅広い立場の人が発表をし、各々抱えているジオパークの地域づくりに関する課題や解決策を交換しました。



ジオガイド養成講座修了式

10月21日、ジオガイド養成講座修了式が行われ、36人が養成講座を修了しました。

現在、ジオガイド認定試験を実施中で、この試験に合格した人のみ認定ジオガイドになることができます。認定試験は実技形式で、試験官をお客様に見立て、実際にガイドをするときと同じように行われます。



1月10日 伊豆半島ジオパーク内の保全活用に関するシンポジウム

来年1月10日、伊豆半島ジオパーク内の保全活用に関するシンポジウムを伊豆半島ジオパークと環境省が主催します。

日本にあるジオパーク36のうち、24が環境省の定める国立公園を含んでいます。

伊豆半島ジオパークは富士箱根伊豆国立公園と一部エリアを共有しており、他に箱根ジオパークと伊豆大島ジオパークも富士箱根伊豆国立公園とエリアを共有しています。

このシンポジウムでは、富士箱根伊豆国立公園内にある3つのジオパークで活躍するガイド等が集まり、各地の活動を紹介するとともに、国立公園と伊豆半島ジオパークがどう連携していくのがよいか、また、地域住民と行政との連携、周辺ジオパークとの連携により生まれる力とは何か、「連携」をキーワードに考えます。

インターネット、FAXにて参加を受け付けております。詳細は伊豆半島ジオパーク公式HP (<http://izugeopark.org/>) をご覧ください。



2日間連続開催 フォーラム&ワークショップ

ジオパークの楽しさのひとつに、地域のあちこちにあるヒト・モノ・コトを実際にその場に行って、体験して、学び楽しむことができるということがあります。地域の見どころが展示物、そこに住み働く人たちが解説者の「博物館（ミュージアム）」のようにとらえることができます。

伊豆半島をまるごとミュージアムとして見せるにはどういった仕組みが必要か。伊豆半島をまるごと楽しむための視点を、現在の観光客の動向やフィールドミュージアム先進地の事例を踏まえて考える、フォーラムとワークショップを開催します。

1日目（1月31日）は観光振興やエコミュージアムを研究している2名の専門家による講演と、それをうけたパネルディスカッションを、2日目（2月1日）はフォーラムの内容をふまえて下田市街地をケーススタディに「まちあるきジオマップづくりワークショップ」を行います。両日ともに参加無料です。どちらか1日のみの参加も可能ですので、ぜひご参加ください（2日目のワークショップのみ参加申し込みが必要です）。詳細は伊豆半島ジオパーク公式HP (<http://izugeopark.org/>) をご覧ください。

伊豆半島における観光振興と住民参加による博物館活動

伊豆半島ジオパーク推進協議会は、2015年の世界ジオパークネットワーク加盟認定に向けてガイド養成や解説板設置などの観光客受入体制と、ビジターセンターや拠点施設の整備を進めています。

1月31日（土）のフォーラムでは、観光産業の競争戦略や観光による地域振興をテーマに研究している狩野美知子氏と、フランスのエコミュージアムを研究してきた石川憲之氏が、観光振興と博物館のネットワークを語ります。

2月1日（日）のワークショップでは、フィールドミュージアムの視点を踏まえて伊豆半島ジオパークガイドや研究者と一緒に下田市街地を歩き、文化・自然・地質遺産を結び付けたモデルコースを作ります。

※どちらか1日のみの参加も可能です。両日とも参加無料

<p>1月31日（土）フォーラム</p> <p>伊豆半島における観光振興と住民参加による博物館活動</p> <p>時間：14:00～16:00 会場：伊豆半島観光会館 第2会議室</p> <p>プログラム</p> <p>講演：熱海市観光動向実地調査にみる観光客の特性 狩野美知子（静岡県立大学文化科学研究科教授）</p> <p>講演：エコミュージアムからみた地域社会と博物館の連携 石川憲之（静岡県立大学（バウ）社会連携推進機構准教授）</p> <p>パネルディスカッション 狩野美知子・石川憲之 三好信行（伊豆半島観光会館専任理事）</p> <p>定員：80名 申込：事前申し込み不要 会場への交通： 伊豆半島観光会館 静岡市清水区和田1-15-1 TEL:0557-33-2735 伊豆半島ジオパークは、企業・観光客は必ず皆さんの車で来て、志願者の場合は必要に応じて駐車券（有料）をご利用ください。</p> <p>主催：静岡大学イノベーション社会連携推進機構 伊豆半島ジオパーク推進協議会</p> <p>お問い合わせ 伊豆半島ジオパーク推進協議会 TEL:0557-32-1784</p>	<p>2月1日（日）ワークショップ</p> <p>第1回下田まちあるきジオマップづくり ジオワークショップについては第2回以降は別途ご案内です。</p> <p>時間：10:00～14:00 受付：道の駅「無田下田みなと」2階 伊豆下田町のアウトドア・体験施設「道の駅しーもん」</p> <p>プログラム</p> <p>10:00 集合（道の駅「無田下田みなと」） 10:10 ミニ講演 エコミュージアムからみた地域社会と博物館の連携 石川憲之（静岡県立大学（バウ）社会連携推進機構准教授）</p> <p>10:40 自己紹介 下田の街を自然と文化のつながりを楽しみながら歩きます。 MMA 石川憲之・高橋正（伊豆半島ジオパーク認定ジオガイド） 高橋正（伊豆半島ジオパーク推進協議会専任理事）</p> <p>13:00 まちあるきのおまとめ まちあるきの際の服装をフィールドウェアとします。</p> <p>定員：20名（先着順） 持ち物：歩きやすい服装・昼食代1000円 折り込み券などの用意</p> <p>申込：事前申し込み 1月28日（日）まで 下田観光交流センターにてお申し込みください。 伊豆半島ジオパーク推進協議会事務局 TEL:0557-32-1784 MAIL:info@izugeopark.org</p> <p>主催：伊豆半島ジオパーク推進協議会 静岡大学イノベーション社会連携推進機構 下田観光交流センター 伊豆半島ジオパーク協会</p>
---	--